

### ヒントカード

人のために動くことこそ大切だ！と考えたあなたへ…

【なぜそう考えたのか。教科書の本部や内容と関わらせて考えよう。】

○教科書の本文や内容の例

- ・「握手」のルロイ修道士が左の人さし指をたたき潰されても、日本のために尽くした。
- ・「握手」のルロイ修道士が自分の命よりも子供たちと会うことを優先して回った。

【社会とつなげよう】

○例

- ・ラグビーのカナダチームがボランティアをしていた
- ・ボランティアの尾島さん
- ・高齢化社会

### ヒントカード

自分のことをしっかりやることこそ大切だ！と考えたあなたへ…

【教科書のどこの部分からそう考えたのだろう…】

○教科書の本文や内容の例

- ・「蟬の声」の祖父の「身の回りのことは自分でする」
- ・「蟬の声」の祖父が和男にだけ戦争のことを伝えた。「戦争のことを伝える」という責任を果たす。

- ・「握手」のルロイ修道士の「困難は分割せよ」という言葉。

【社会とつなげよう】

○例

- ・高齢化社会
- ・ニートなど自分のことすら自分でできない人がいる。

### ヒントカード

社会や国、集団を変えていこうとすることこそ大事だ！と考えるあなたへ…

○教科書のどこの部分からそう考えたのだろう…

- ・「故郷」の「私」が言っている「思うに希望とは…」の部分。
- ・魯迅が中国人の心を変えようと、小説を書いたこと。

【社会とつなげよう】

○例

- ・ハンセン病の問題↓訴えたことで国に負けを認めさせた
- ・東京電力で働いていた人が過労死↓母親が訴えて働き方改革が始まる
- ・飲酒運転の人に家族がはねられた↓飲酒運転に対する取り締まりが厳しくなった

※学級や学校、日常生活とつなげて考えてもよい。